令和５年10月3日
北広島市保健福祉計画検討委員会
第２回高齢福祉部会　【資料３】

サービス提供事業所調査について

保健福祉部 高齢者支援課

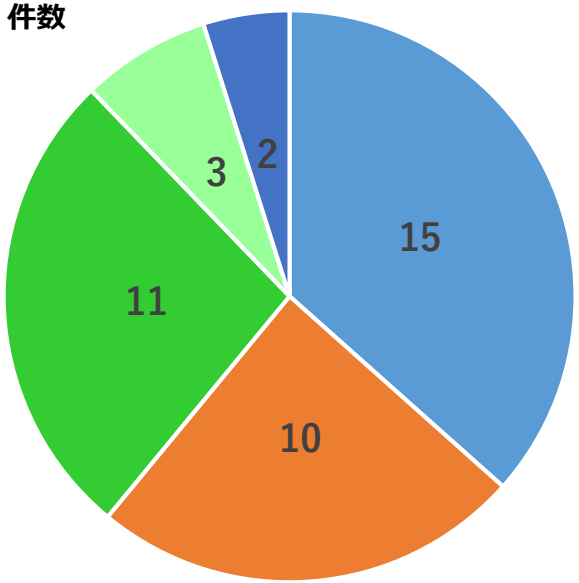
○サービス提供事業所調査

①調査の目的	高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定にあたり、市内介護保険サービス提供事業者の現状及び今後の意向等の把握
②対象	市内において介護保険サービスを提供している事業者の法人（49法人）
③調査基準日	令和5年7月1日
④調査方法	アンケート調査票にて回答　※希望する法人には聞き取り調査も実施
⑤調査実施期間	令和5年7月1日から令和5年7月18日まで
⑥回収率	84.7%（回答法人数41）

○サービス提供事業所調査　～需要と供給の関係～

Q.貴法人が運営する北広島市内事業所においてサービスの需要と供給関係はどのようになっていますか。

単位：件数

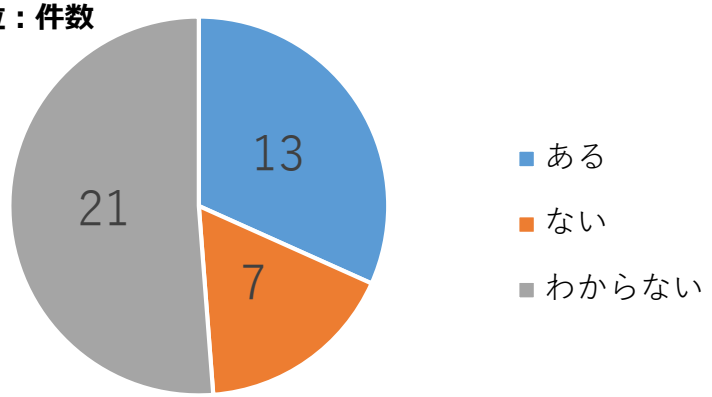


- 提供体制と利用者数のバランスが取れている（需給）
- 提供体制は整っているが、利用希望者がいない（供給過多）
- 利用希望者はいるが、人材不足により提供体制が整っていない（需要過多）
- 利用希望者はいるが、設備不足により提供体制が整っていない（需要過多）
- その他

○サービス提供事業所調査　～不足と感じている事業所～

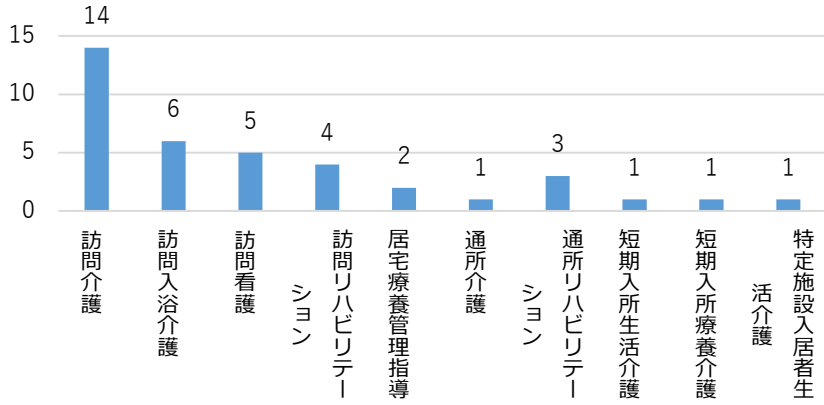
Q.市内で不足していると感じる事業所はありますか

単位：件数



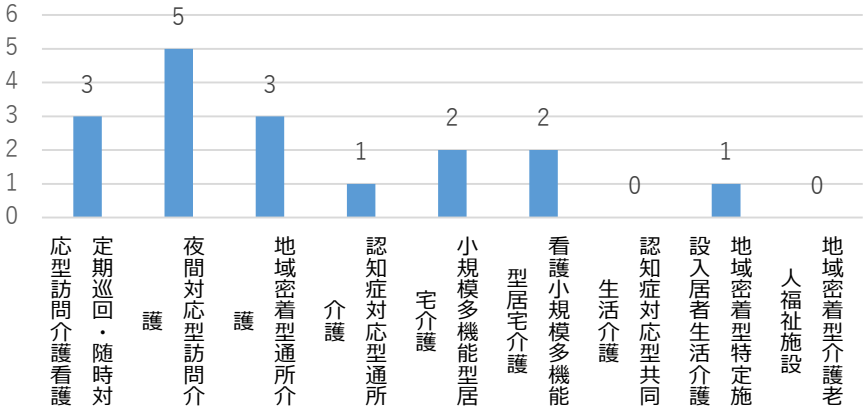
不足しているサービス ～居宅サービス～

単位：件数



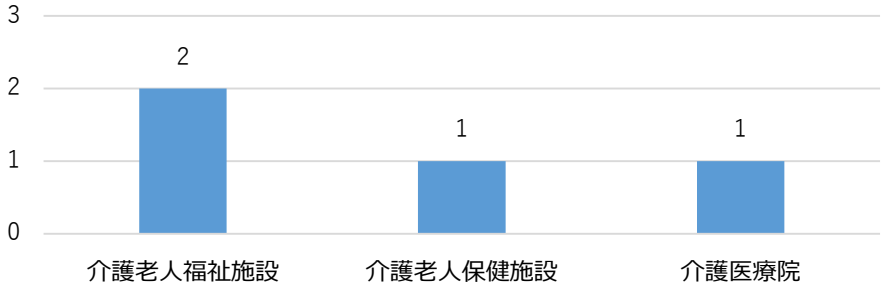
不足しているサービス ～地域密着型サービス～

単位：件数



不足しているサービス ～施設サービス～

単位：件数



○サービス提供事業所調査

Q.不足していると回答したサービスについて、不足していると感じる理由

~訪問系サービス~

○短時間や早朝、夜間などは希望者が多いにもかかわらず対応してくれる事業所がない。人手が足りなくて対応してもらえない。といった話しを聞くことが多いように感じる。また、重度障害、疾病に対応可能なサービスの不足への不安の声があった。

○市内に訪問リハビリテーション事業として活動しているところは1箇所しかなく、他のサービスで補っているから。

○人員及び事業所不足、働き手がいない、居宅介護支援事業所も足りない。

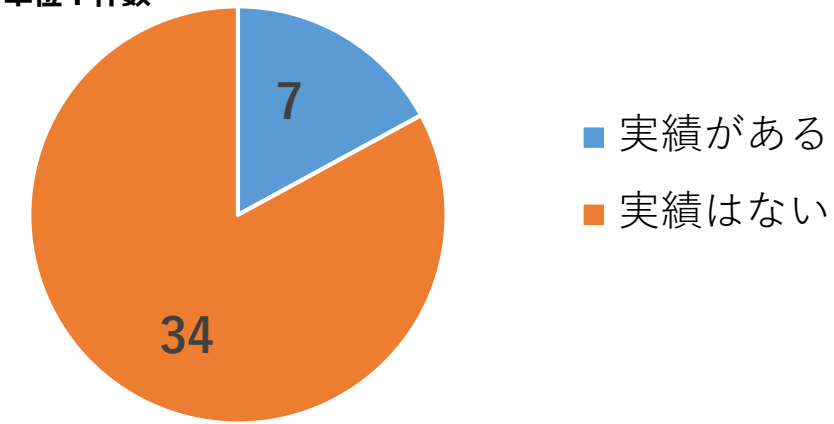
○人がいないためという理由で、利用者様の希望通りにサービスやスケジュール調整が叶わないケースも見られるため。

サービス提供事業所調査の結果について

○サービス提供事業所調査　～外国人の採用について～

Q.外国人の採用実績はありますか？

単位：件数

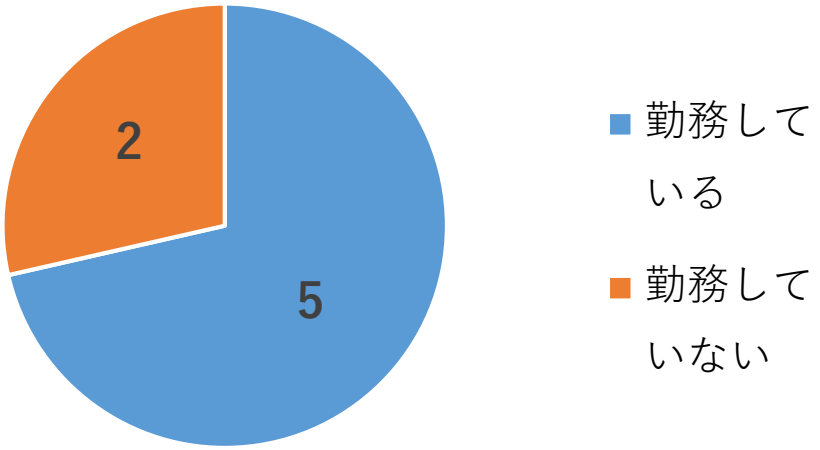


採用した外国人の国籍について

○ネパール
○インドネシア
○ベトナム
○中国
○ミャンマー

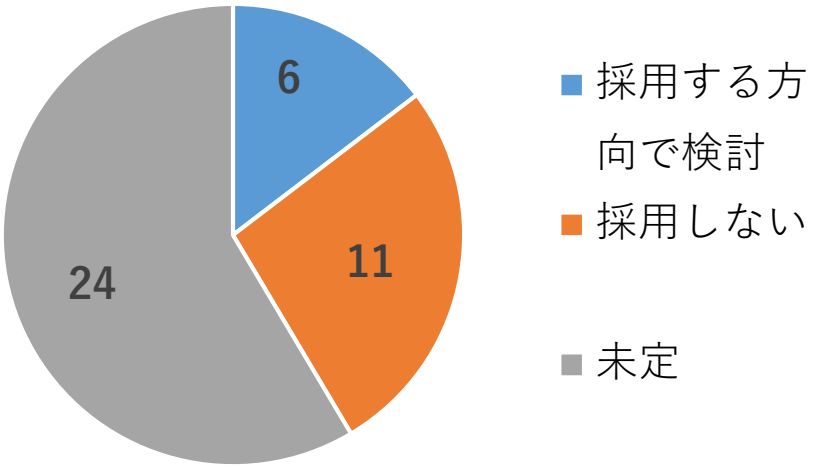
Q.現在も継続して勤務していますか？

単位：件数



Q.今後外国人の採用見込みはありますか？

単位：件数



○サービス提供事業所調査

Q.令和6年度（2024年度）の介護保険制度改正について、疑問点や要望

○物価高騰の背景から、基本報酬の引き上げを行って頂きたい。
○総合事業の報酬単価の現状維持。
○現存のサービスでは補えない困難（些細な日常的なちょっとしたものであっても）を抱えている方たちへの方策がもう少し踏み込んで示されると良いと思います。地域の助けやボランティア（有償も含め）等が機能する場合は多くないように感じている。
○訪問看護において、事業所内のリハビリ職員の割合に制限される制度が改正案にあがっており、この制度が通ると市内のリハビリ希望される利用者の訪問が出来なくなる可能性があるため、改正されない方向で動いて頂きたい。
○国がすすめようとしている要介護１・２を自治体の総合事業に移行することには反対。
○訪問看護について、医療保険と介護保険の加算等の算定条件の整合性を確保してほしい。利用者のサービス利用控えにつながらないような改正をしてほしい。
○物価の高騰に伴い、食費・居住費の単位数の見直しをしていただきたい。
○介護報酬アップか完全公務員化。ケアマネ資格及びヘルパー資格の撤廃により、裾野を拡げる。介護保険サービス適用範囲の拡充。
○物価高騰及び人件費（最低賃金の上昇）による経営圧迫の影響がある為、介護報酬のマイナス改正は避けて頂きたいと切に願います。
○居宅介護支援事業所の処遇改善手当の検討。

○サービス提供事業所調査

Q.人材確保に係る市の施策（就労支援金、合同就職相談会等）について

○人材確保のために業者を利用すると年収の１５～３０％と高額なため、業者を利用した場合の補助制度などについてご検討頂けますと幸いです。
○特定技能1号の外国人職員2名に昨年から勤務してもらっています。住宅探しが本当に大変で、住む場所が確保できないのではとかなり心配した経過があります。
空室なのに外国人には貸せないと何軒にも断られました。住宅確保困難者への支援を本気で行政が取り組んでいただきたい。
○就労支援金の継続を希望します。これ位の町の規模ではあまりないので、魅力的です。
○あちこちの町村ですでに行っていますが、学生への給付型の奨学金はあってもいいと思います。卒後市内事業所に勤務したら免除等だと良いのではないでしょうか。
○就労支援金を利用して地域の介護職員を増やしたい。
○就労支援金について、可能な限り継続して頂きたい。
○就労支援金はいい制度だと思いますが、この支援金があるから働くことにしたというケースはなく、結果的に対象者だったためもらえる状況です。もっと大々的に宣伝することでまた違うのかと思います。
○事業所での職員の育成や質の高いサービスを提供継続の難しさを感じている。行政にて、オンライン等の研修を増回を希望します。
○現在の制度は継続してもいいが、介護の仕事に興味のある人材を増やすために、資格取得のための助成枠を増やしてほしい。
○成果があるので継続して実施して頂きたい。
○北広島市より各市町村に向けて、施策（就労支援金）についてのアピール活動を強めていただきたい。

○サービス提供事業所調査

Q.その他市への要望、自由記載

○人材確保や物価高騰、エネルギー価格が高騰した場合でも利用者へ価格転換することが困難な為、利用者へ請求可能となる制度の改正又は補助などについてご検討頂いただきたい。
○札幌市のように要支援の訪問相当サービス算定の月謝制を止め、要介護と同じ算定にして頂きたい。
○介護認定の基準（内容）があいまいだと思われる。担当のケアマネジャーによって、同様の利用者が要介護になったり要支援になっている。
市の各担当者及びどこの居宅介護支援事業所のケアマネジャーであっても、差異のない介護認定ができるようにして頂きたい。
○最近は水周りその他修繕費が大きく増えてきており、施設を長期維持利用していくためにどうしたらよいか頭が痛いところです。
介護ロボット等の導入や施設維持のための市の補助金等があると助かると大変ありがたいと考えています。
○物価高騰により経営が圧迫されている。補助制度を検討していただきたい。
○北広島市の事業ごみの処理費用が他市に比べてかなり高いので、例えば資源ごみについては無料回収としていただきたい。
○在宅での看取りについて、被保険者の近親者の理解の周知。
○訪問介護においてのちょっとしたサービス（生活援助）に対しての住民主体のサービス（訪問サービスＢ）の活用について活用を検討していただきたい。

○サービス提供事業所調査

Q.その他市への要望、自由記載　その２

○紙おむつ購入費の助成について、認知症対応型共同生活（グループホーム）入居者も対象として頂きたい。また、生活保護の家賃補助の引き上げを検討して頂きたい。
○北広島市に住んで北広島市で働く人が増えるような施策をどんどん行ってほしい。
○介護予防の方等へも必要とされるリハビリや看護（短期的な利用が多いと思いますが）を届けるためのサービスの充実化を図ってもらいたい。
○訪問看護サービスは北広島市以外の事業所が多く参入している印象がある。訪問看護の需要の傾向など事業所の運営を検討する上で参考にしたいので、北広島市における訪問看護サービス利用者のうち、北広島市以外の事業所の利用状況を開示してほしい。
○空き家バンクに登録された住宅や空いてる市営住宅を活用できないでしょうか。
○駐車場が無いお宅の場合、最寄りの施設駐車場を利用するしかないのですが、最近駐車料金が高いため、対策を検討いただきたい。
○人材不足で本当にサービスの提供を必要としている人に対して提供できているのか思うところがある。
○事業所における事務負担の軽減を希望。（届出、加算関係）
○適切な手順を踏んだケアプランの作成を。

○サービス提供事業所調査【まとめ】

・介護サービスの提供において需要と供給のバランスが取れていない（供給過多または、需要過多）と回答した事業者が半数を超えている。

・不足していると感じるサービスは訪問系において多く見受けられた。

・外国人人材の採用は東南アジア系が多い。また、１割の法人が今後採用を検討。

・介護保険制度改正については、物価高騰の影響から報酬の引き上げを希望する法人が多く見受けられた。

・人材確保に係る市の施策について、就労支援金の継続を希望する事業所の意見のほか、資格取得者用の助成、外国人雇用への支援などの回答があった。